

3号機 タービン機器冷却水熱交換器の点検作業について (続報)

平成 16 年 12 月 1日

運転中の3号機において、タービン機器冷却水系統(1)のタービン機器冷却水熱交換器(B)(2)内で冷却水が海水側に流れ出ていることが確認されました。このため、11月16日より熱交換器(B)の点検・修理を行うこととしました。(平成16年11月15日お知らせ済み)

点検により、タービン機器冷却水系統の冷却水が海水側に流れ出ている伝熱管が3本あることを確認し、当該伝熱管の両端に閉止栓を取付ける修理を行いました。

不具合の原因は、伝熱管内に付着した貝の影響により伝熱管内を流れる海水の流れに乱れが生じ、この結果、伝熱管の一部が局部的に浸食され、微少な穴が生じたものと考えられます。

熱交換器(B)の全ての伝熱管を清掃し、11月30日に復旧しました。

なお、念のため、引き続き熱交換器(A)についても点検・清掃を実施してまいります。

- 1 タービン系機器(各種ポンプ、モータ等)の冷却を行うための系統。この冷却水(脱塩水)に放射能は含まれていません。
- 2 タービン系機器(各種ポンプ、モータ等)の冷却に使用された冷却水(純水)を、海水との熱交換により冷却するための設備。熱交換器内には2400本の伝熱管があります。

以上

3号機タービン機器冷却水系統概要図

